

## 委員会の主な議題(令和6年7月～9月)

## 常任委員会

## ◆ 企画総務委員会

議案審査と陳情審査の結果と賛否 6面

- 7月10日(水)
  - 東京大学との基本協定締結
  - 訴訟事件の発生
  - 職員の懲戒処分
  - 契約報告(10件)
- 8月7日(水)
  - 総合庁舎屋上庭園における芝生・キッズパークエリアの再整備の実施
  - 職員の名札デザインの見直し
  - 契約報告(8件)

## ◆ 生活福祉委員会

- 7月10日(水)
  - 令和5年度公益財団法人決算報告
  - 目黒区芸術文化振興財団/目黒区国際交流協会
  - 令和5年度指定管理者運営評価結果(区民生活部)
  - 目黒区立住区会議室/目黒区区民斎場
  - 民事訴訟の提起
  - 令和5年度指定管理者運営評価結果(産業経済部)
  - 目黒区中小企業センター及び勤労福祉会館
  - 令和5年度指定管理者運営評価結果(文化・スポーツ部)
  - 目黒区文化ホール及び目黒区美術館/目黒区立体育施設
  - Meguro Dance Connection(メグロ ダンス コネクション)参加者募集
  - 目黒区民センタープール(屋内プール)の臨時休場
  - トップアスリート交流イベント」の開催
  - 新型コロナウイルスの定期接種への対応
  - 令和6年度敬老のつどいの開催
- 令和5年度指定管理者運営評価結果(健康福祉部)
- 目黒区立高齢福祉施設/目黒区立障害福祉施設
- 8月7日(水)
  - 第61回目黒区商工まつり(目黒リバーサイドフェスティバル2024)の開催
  - 第22回めぐろスポーツまつりの開催
  - 「オートバー・ランアンドウォーク」における目黒区民限定イベントの開催
  - 令和5年度目黒区保健福祉サービス苦情調整委員運用状況報告
- 9月9日(月)
  - 議案審査(※)
  - 目黒区地域包括支援センター事業委託事業者の選定
  - 令和6年第2回臨海部広域斎場組合議会定例会における議決結果等

## ◆ 都市環境委員会

- 7月10日(水)
  - 東京都市計画生産緑地地区(東が丘一丁目)の変更の取扱い
  - 令和5年度指定管理者運営評価結果(都市整備部)
  - 区営住宅等/三田フランス/目黒区立自転車等駐車場/ポニー園/駒場公園茶室・和室/駒場野公園デイキャンプ場
  - 令和5年度指定管理者運営評価結果(環境清掃部)
  - 目黒区エコプラザ
  - 工事報告(2件)
  - 工事報告(1件)
- 8月7日(水)
  - 緑が丘図書館の天井材の落下
  - 児童手当制度改正に係る申請手続勧奨通知の発送
  - ヤングケアラー支援のための取組
- 9月9日(月)
  - 議案審査
  - 目黒区中学校の通学負担の緩和措置
  - 令和7年度区立幼稚園及びこども園の園児募集
  - 区立ひがしやま幼稚園における弁当給食の実施
  - 1人1台学習情報端末(GIGAシステム)の更新
  - 令和6年度目黒区学習状況調査結果の概要
  - 令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要
  - 令和7年度使用目黒区立中学校教科用図書採択結果
  - 目黒区青少年プラザの臨時休館
  - 「目黒区子ども読書活動推進計画(仮称)」策定の進め方(案)

## ◆ 文教・子ども委員会

- 7月8日(月)
  - 【視察】田道小学校、大岡山小学校、第十一中学校
- 7月10日(水)
  - 児童・生徒の学習情報端末を活用した相談受付「めぐろそうだんポスト」
  - ランランひろばのサービス拡大
- 7月22日(月)
  - 【視察】清泉寮、山梨県立ハケ岳自然ふれあいセンター、ハケ岳林間学園
- 8月7日(水)
  - 令和7年度隣接中学校希望入学制度の実施
  - 新校舎基本設計(案)
  - 目黒区立目黒南中学校/目黒区立目黒西中学校
  - 区立小学校における個人情報の漏えい

## 議会運営委員会

- 8月21日(水)
  - 令和6年第3回定例会の招集について
  - 提出予定議案について
  - 会期及び会期中の日程について
  - 議会運営委員会に提案する意見書等について
  - 一般質問の通告期限について
  - 請願・陳情について
  - 決算特別委員会の設置及び正副委員長の選出について
  - 本会議における討論通告書の提出期限について
  - 令和6年度目黒区各会計補正予算案について
  - 令和6年度都区財政調整当初算定結果について
  - 政務活動費収支報告書に係る議長の調査結果について
  - 災害用伝言ダイヤル(171)による安否情報把握訓練について
  - 地方自治法の一部改正について(区議会に関連する主な内容)
- 8月28日(水)
  - 陳情について
  - 一般質問の順序について
  - 令和6年度区政功労者表彰式の概要について
- 令和6年度区議会事務局補正2号予算要求について
- 補正審査の会場について
- 特別区議会議長会「日中友好交流事業」における目黒区議会の対応について
- 9月4日(水)
  - 追加提出議案について
  - 議事日程及び進行順序について
  - 委員会開催予定について
  - 意見書(案)について
  - 諮問(人権擁護委員候補者の推薦)について
  - 決算特別委員会の正副委員長の候補者について
  - 陳情の取下げについて
  - 令和7年度行財政運営基本方針について
  - 令和7年度当初予算編成日程について
  - 政務活動費収支報告書に係る議長の調査結果について
  - 政務活動費に係る日程について
  - 災害用伝言ダイヤル(171)による安否情報把握訓練の延期等について
  - 目黒消防署視察の実施について

## 議案の撤回について(※)

9月9日の生活福祉委員会で、議案第41号目黒区立体育施設条例の一部を改正する条例の審査において、八雲体育館の使用料の上がり幅が他の体育施設に比べて大きいのではないかと、議員から質疑がありました。委員会終了後、区で改めて確認したところ、使用料算定に用いた面積に誤りがあることが判明し、区長から議案を撤回したいと求めがありました。そのため、区議会では、9月24日に生活福祉委員会を開催し、議案の誤りについて報告を受け、9月30日の本会議で質疑の後、撤回を承認しました。なお、議案は、区で内容を精査した上、令和6年第4回定例会に再提出される予定です。

委員会の会議録は  
閲覧・検索できます。



## 決算特別委員会 討論要旨 ～令和5年度一般会計歳入歳出決算を認定～

決算特別委員会では議長と監査委員を除く32人の議員が、令和5年度決算について6日間にわたり慎重に審査しました。

審査の様子はコードから「令和6年決算特別委員会」の録画映像を視聴できます。

また、本会議での委員長報告と討論、議決の様子は、「令和6年第3回定例会」の「9月30日本会議」から、録画映像でご覧になれます。



## ●9月6日 委員長・副委員長の互選

佐藤ゆたか委員長、木村あきひろ副委員長が選出されました。

## ●9月17日～25日 議案審査 ( )は議案番号

一般会計(第56号)/国民健康保険特別会計(第57号)/後期高齢者医療特別会計(第58号)/介護保険特別会計(第59号)

## ●9月30日 委員長報告、討論、議決 (議決結果は6面)

本会議で、佐藤ゆたか委員長が決算特別委員会で審査した経過と結果を報告しました。各会派等の代表9人が、決算の認定に対し、賛成・反対の立場で討論を行いました。



木村あきひろ 副委員長 佐藤ゆたか 委員長

## 【住民福祉の機関】として区民のくらしを

## 支え得る行政に転換を 日本共産党目黒区議団 岩崎 ふみひろ 議員

1点目は行政の支援を最も求めている区民に対し支援が弱いこと。区内中小零細企業や生活保護利用者、低所得者への支援は不十分で、国保料や介護保険料の引き下げもなかった。

2点目は区有施設の再編と受益者負担の区民への押しつけ。民間丸投げで大手企業主導のPFI事業による区民センターの整備、南部・西部地区の区立

中学校の統廃合、施設使用料の引き上げなど容認できない。

3点目は、財政調整基金を減らす要因である市街地再開発事業は見直し、区民生活支援に転換するべき。

4点目は、学童保育クラブの民間委託の推進をやめること。区立を存続し、学童保育の待機児童や過密化の解消を第一に推進すべきである。

## 【賛成】今こそ大胆な財政ルールの見直しで、持続可能な

## 財政運営を進めよ 自由民主党目黒区議団・区民の会 小林 かなこ 議員

コロナ禍、物価高騰、緊急事態においても、区民を守り行政サービスの質を維持していくためには、持続可能な財政運営が大前提となる。令和5年度の目黒区一般会計決算の結果は、積立基金残高(貯金)が特別区債残高(借金)を838億円余り上回る安定かつ堅実な財政運営となったことは評価する。

今後、区有施設の更新で2千億円以

上の財源が必要となる。財政運営に余裕がある今こそ、大胆な財政運営ルールの見直しと一部の事業廃止で持続可能な財政運営を実現し、行政サービスの質の向上に努めよ。併せて、行政運営では、行政手続きのオンライン化、老々介護の家族支援、都立児童相談所の設置等、老若男女問わず全ての区民の満足度向上に努めよ。

## 【反対】区民全員に一律現金給付！

## 目黒区美術館は民間に貸し出し保存を こいで まあり 議員

令和5年度決算は73億円の大幅黒字。物価高騰対策で28万人の区民全員に一律現金給付実施など、思い切った施策も可能だったのでは。長期目的の積立基金を20年国債で運用し、その

利息を区民に分配を。千葉県佐倉市、川村記念美術館は都内移転の可能性がある。目黒区美術館を有償で貸し出し、建物保存の検討をすべき。

## 【賛成】嵐の前に、

## 目黒区は何をすべきか めぐろの未来をつくる会 かいでん 和弘 議員

昨年度の決算は、区税収入が過去最高額の515億円にのぼるなど、非常に安定していた。しかし今後、学校などの区有施設の建て替えに巨額の費用がかかるため、目黒区の財政が苦境を迎えるのは、ほが確定している。いわば今の状況は、嵐の前の一時の嵐にすぎない。

そんな状況だからこそ、今のうちから区を目指すべき将来像に照らした「取捨選択」が必要だ。ひとたび区の将来像に相反する施策を容認すれば、それは容易に廃止できない、後の時代の足かせとなる。だが逆に、区の目指す方向性と合致するものならば、トライ&エラー大歓迎で挑戦すべき時である。

区長以下、全職員が「嵐の前に目黒区は何をすべきか」を問い直し、荒波を乗り越える準備を行って頂きたい。

## 特別委員会

## ◆ 施設更新・DX等調査特別委員会

- 7月12日(金)
  - 新たな目黒区民センター等整備・運営事業に係る事業者公募の実施
  - 目黒区民センター周辺地区における地区計画(原案の案)の住民説明会等の実施結果
  - 区民交流活動室(仮称)の名称及び貸室設置条例制定に向けた基本的考え方

- 9月12日(木)
  - 議案審査
  - 区有施設見直し計画等の改定検討の方向性
  - 現在の学校施設更新の課題と学校施設更新計画の改定
  - 地方公共団体情報システム標準化移行困難事案の発生と今後の対応

- オンラインによる納付相談の開始
- 物価高騰対応重点支援給付金事業の実施状況
- 物価高対応等融資支援金の給付

## 【賛成】区民・現場の声を聞き、寄り添った対応で

## 必要な施策を行使せよ！ 公明党目黒区議団 はまよう子 議員

原油価格・物価高騰及び円安や、ふるさと納税等による減収の影響が続く中「令和5年度行財政運営基本方針」に基づき、国や都の助成金を活用し、4度にわたる補正予算を編成し、区民生活と区内事業者を支えてきたことは評価する。一方で、令和5年度目黒区実質収支比率は9.4%であり、適正範囲の3～5%を上回っていた。この物価高騰の

中、区民の暮らしを守るため、区独自の施策を実施するべきであった。今後は区有施設の建て替えや扶助費増により、財政圧迫は避けられない。適切な事業評価を行い、区民や現場の声に耳を傾け、既存の枠にとられない豊かな発想で、その声を形にする施策に取り組むことを強く要望し、本決算に賛成する。

## 【賛成】区立児相設立断念と、都の交付金割合引き上げ交渉の

## 影響について 目黒区議会立憲民主党 細貝 悠 議員

令和5年度決算の特徴は、主に新型コロナウイルス対策費や物価高騰対策費の2点である。子育て応援給付金や給食費保護者負担ゼロなどが区民生活を支えた。

目黒で起きた痛ましい児童虐待死事件を二度と起こしてはならない。

総括質疑では、都区財政調整交付金割合引き上げ交渉の根拠にしていた区立児童相談所を断念しても、引き続き

都に割合増を求めるとかと質問した。区からは「変わらず求めていく」との答弁があった。

今後、児童相談所のあり方に関しては多くの議論が必要だ。ただし、サービスを求めるだけではなく、同じく財源も確保する必要がある。決算特別委員会で伝えたこれら意見等を区政に反映することを要望し、賛成する。

## 【賛成】住み続けたい目黒のために

## 日本維新の会目黒区議団 上田 あや 議員

①持続可能な財政のためのルール見直し、②受援体制強化による防災力向上、③感染症情報提供、④検診等受診券の郵送費用削減、⑤高齢者福祉関係機関とヤングケアラー支援機関との連

携、⑥教育無償化の拡充、⑦図書館支援員制度拡充、⑧不登校支援、⑨小・中学校給食費相当額の公会計化等を要望し、本決算に賛成する。

## 【賛成】区長も職員も区民にとっての真の豊かさとは何かを

## もっと追求せよ 白川 愛 議員

区長は客観的な証拠に基づく政策立案の強化を述べるが、実績からは区民生活を豊かにする明確なビジョンや将来展望が不明瞭である。オープンデータの活用や各種支援策はあれども、政

策間の連携不足が際立つ。極めて限定的な外国人学校補助金制度の見直しを求めると共に、より区民のための公正な政策を推進する重要性を強調する。

## 【賛成】人権が守られ、区民の声が反映される、

## 住み続けたいまち目黒に 増茂 しのぶ 議員

赤ちゃんから高齢者まで、全ての人の人権が尊重され、動物物も大事にされるまちづくりの推進を。住環境を守るため羽田新飛行ルートの撤回、区民の共有財産である美術館は、壊さず活か

すなど区民の声を聞くことや、ワクチンのデメリット情報、マイナ保険証の見直しを求める。庁舎内の給水機を増やしペットボトル削減につなげよ。